

# 「右」でも「左」でもなく、 「わたし」の場所へ

私は昔から、あまり「みんなと同じ」にこだわるタイプではありませんでした。むしろ、「みんながそう言ってるけど、ほんまにそうなん？」と思うことの方が多い。(笑)

「普通はこうする」そんなの無理に決まってる」「みんなそうしてるよ」と言われると、「……なんで？」って、つい聞きたくなる。こちらに来た当初も、、「なんでなん？」が口癖だと思われてました(笑)

でも、そんな私でも最近思うんです。

「みんなと違うこと」と「自分らしくあること」は、同じじゃないのかもしれないな、と。「私は人と違う」それだけで、なんとなく自分らしく生きているような気になることもある。みんなが右なら左へ。みんながやらないなら、やってみる。「普通」に収まらないことをちょっと誇らしく思ったりもする。でも、それもまた、「みんなとは違う自分」という別の枠に 自分を入れているだけかもしれないな、と……。

大切なのは、みんなと同じか、違うか。

ではなくて、

「私は、どうしたいのか。」

なのかもしれません。

みんなと同じ道を選びたい日もある。  
みんなと違う道を歩きたい日もある。  
誰かの意見に「そうやな」と思う日もある。  
「いや、私はそうは思わんな」と思う日もある。どちらでもいい。  
「みんなと同じ」も悪くない。  
「みんなと違う」も悪くない。



ただ、自分の人生なのだから、一度くらい、自分に聞いてみてもいい。

## 「私は、どうしたい？」

誰かになんでなん？って聞く代わりに、ときどき自分に聞いてみようかな。(笑)  
みなさんは、どうでしょう？



## 博要地区納涼夏祭り2026

8月8日(土)、暑さも少し和らいだ午後6時から、恒例の納涼夏祭りを開催し、地区内外より260名の参加がありました。オープニングでは、昨年も出演いただいた『ええねん』さんによる、よさこいソーランで、活気ある夏祭りの始まりとなりました。

3歳の男児が大旗を振る姿がとても力強く勇ましかったです。



「射的」では、真剣な表情で的を狙う子供たちの姿が見られました。命中した子は、人気の光る景品、当たらなかった子もお菓子のつかみ取りで喜んでくれていました。

今年から始めた「スーパーボールすくい」では、お椀いっぱいにくったボールを得意気に持ち帰る姿が印象的でした。



昨年大変盛り上がった「スリッパ飛ばし大会」では、保育園児から80歳代の78名が参加！

かいっぱい飛ばしたスリッパの落ちる様子に一喜一憂！場内には歓声が沸き上がりました。結果は、パワー溢れる小学生が上位5名を占め、スリッパ飛ばしにちなんだ賞品を持ち帰っていただきました。



別紙にて、  
『♪ようきてくれたわて♪』  
の歌詞を用意しました。  
ぜひご覧ください。

盆おどりの舞台は、なんと軽トラ！  
浴衣姿の八木かな子さんがやぐらに見立てた軽トラに立ち、盛り上げてくれました。

また、この日は盆おどりのために作った博要のオリジナル曲『♪ようきてくれたわて♪』のお披露目があり、地域の若手の頑張りを見ていただくことができました。

桐ヶ丘きらく会の方々も参加してくださり、夏祭りを盛り上げていただきました。

準備から片付けまでお手伝いいただきました役員の方々の皆様、ありがとうございました。



受付にてご来場の皆様に熊本地震義援金を募り、10,271円のご協力いただきました。ありがとうございました。

8月8日(土)、午前8時より当日の夏祭り開催に向けて、役員、委員、和老会グラウンドゴルフ同好会、活性化委員の合わせて43名のご協力により、市民センター及びコミュニティ広場の草刈り作業を行いました。



おかげで、会場周辺は見違えるようにきれいになり、気持ちよく夏祭りを開催することができました。ありがとうございました。

## まちづくり計画策定委員会

8月24日(月)、第2回まちづくり策定委員会を開催しました。令和9年度からの5ヵ年計画を作るため、現在の計画に沿って、残すべきもの、省くもの、やり方を変えるべきものなど、審議しました。まちづくり計画は、自治協議会の活動の基礎となる大切な計画です。今後、住民の皆様のご意見を聞かせていただく機会も作っていきますので、ご協力をお願いします。



## 人権講演会

8月27日(木)、(公財)反差別・人権研究所 みえの事務局次長 本江優子さんを講師にお迎えし、『ハラスメントについて』と題した講演会を開催し17名の参加がありました。



なぜハラスメントが起こるのかなど身近な問題をチェックシートや穴埋め形式にして、ハラスメントの多様化などのお話をしていただきました。無関心・傍観容認・無知により被害者が加害者に被害者が被害者になりこともあります。人権研修会などには積極的に参加し、いろいろな事を知り、考えることがハラスメントの予防になると学びました。

### ◇今後の予定◇

|         |                 |                                |                 |
|---------|-----------------|--------------------------------|-----------------|
| 9/10(木) | 10:00~          | 献立会議 (C班)                      | 博要地区市民センター和室    |
| 9/11(金) | 13:30~          | 種生おしゃべりサロン                     | 種生生活改善センター      |
| 9/17(木) | 11:30~          | 配食サービス                         | 申込者宅へお弁当を配布します  |
| 9/18(金) | 19:30~          | 本部役員会議                         | 博要地区市民センター小会議室  |
| 9/19(土) | 10:00~<br>15:00 | 田舎のえきはくようTERAS (照らす) / きなりはなれ+ | 田舎のえき (萩田邸)     |
|         | 13:30~          | 農業体験                           | はくようのほたる農園      |
| 9/20(日) | 9:00~           | まちづくり計画策定委員会                   | 博要地区市民センター小会議室  |
|         | 9:20~           | hakuyoga (ハクヨガ)                | 川上ダム            |
| 9/26(土) | 10:00~<br>15:00 | あおやま川上湖祭り                      | 川上ダム及びあおやま川上湖周辺 |

# むらBEATに聞いてみた

今回は、種生在住の廣裕香子さん(姉)、裕美子さん(妹)の姉妹をご紹介します。

1歳違いの仲良し姉妹で国見にお住いです。家族構成は、お父様、お母様、裕香子さんご主人様、裕美子さんの5人で、笑いが絶えないご家族です。姉妹は美術館巡りが好きで、作品だけでなく、美術館の建築や空間を堪能し、ゆっくり過ごす時間に癒されているそうです。また、温泉も大好きで、二人で別府八十八湯を巡って、制覇したそうです!!



妹：裕美子さん 姉：裕香子さん



裕香子さんは長年ウエディングプランナーとして働き、現在は神社婚やフォトウェディングのお手伝いをされています。最近は香りづくりに興味を持ち、レモン栽培を始めたそうです。音楽は、藤井風がお気に入りだそうです。

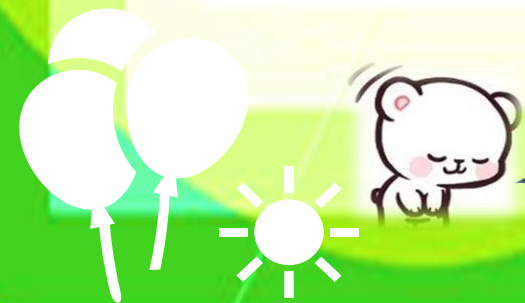
裕美子さんは鳥羽のホテルにお勤めで、種生から通っておられます。水引でアクセサリを作ったり、お花をアレンジしたり、野菜を育てたりするのが得意で、「田舎のえき」にも水引作品を多数出品していただいています。

お二人とも、土日祝も勤務で忙しくされていますが、だからこそ「帰ってくる場所が博要でよかった」と思うそうです。

家に帰ると鳥の声が聞こえ、朝の澄んだ空気や季節ごとに変わる景色など自然に囲まれた静かな環境にホッと、休日には田畑の作業の手伝いなど、汗をかきながら大自然に気持ちがリセットされます。

博要はお二人にとって「帰ってくると癒される場所」だそうです。今は土日中心の仕事のため、地域の行事に参加することができません。いつか仕事を退いたら、今までできなかった分も地域の皆さんと一緒に活動したり、微力ながらも自分たちの暮らす地元のために何かできること見つけて少しずつ関わっていきたいと言われていました。

お二人とも「一期一会」を大切にしています。仕事でも日常でもたくさんの人との出会いがあります。その一つひとつを大切に、感謝の気持ちを忘れずにいたいと話されていました。



こんなに博要を愛おしく思っただけで本当に嬉しく思います。次世代を担うお二人をこれからも博要を見守っていただきたく、大いに期待したいと思います。取材を受けていただきありがとうございました。